

令和5年度
〇Uフェローシップ募集説明会
次第

- 1 開会挨拶
- 2 概要説明
- 3 募集要項等説明
- 4 質疑応答
- 5 閉会挨拶

令和4年8月26日(金) 17:00~

第4期における本事業の位置付け

国立大学法人岡山大学 第4期中期目標

2 教育

(4)深い専門性の涵養や、異なる分野の研究者との協働等を通じて、研究者としての幅広い素養を身に付けさせるとともに、独立した研究者として自らの意思で研究を遂行できる能力を育成することで、アカデミアのみならず産業界等、社会の多様な方面で求められ、活躍できる人材を養成する。(博士課程)⑧

3 研究

(2)産業界等との連携・共同によりキャリアパスの多様化や流動性の向上を図り、博士課程学生やポストドクターを含めた若手研究者が、产学官の枠を越えた国内外の様々な場において、自らの希望や適性に応じて活躍しその能力を最大限発揮できる環境を構築する。⑯

国立大学法人岡山大学 第4期中期計画

(9-1)博士後期課程学生の待遇向上並びにアカデミア及び産業界を含めた、多様なキャリアパスの確保を全学的な戦略の下で一体的に推進することで、優秀な人材が積極的に 学びやすい環境を構築・整備する。



**大学院博士後期・博士課程学生＝若手研究者の一員であることを
第4期中期目標・中期計画で明示し、大学のミッションとして取り組む。**

OUフェローシップ事業概要



博士後期課程・4年制博士課程在籍期間を通じた支援



「重点研究分野（3領域・15分野）を中心とした研究力向上に関する取組」

- ・重点研究分野を中心に共同研究や大型研究プロジェクトに参画する機会を提供

岡山大学若手科学者アカデミー・ダブル総括メンター制度・交流の場の提供等による研究等支援

- ・若手研究者との交流、国際学会等参加への支援
- ・英語を含むプレゼン講習会等の企画提供等
- ・研究面とキャリア面でのダブルメンター制

博士人材－企業との交流強化

- ・会員制組織「岡山大学パートナーズ」との連携により、インターンシップ、企業関係者との交流会等を幅広く実施

キャリアパス支援に関する取組

- ・講義・セミナー、企業とのキャリア交流会、企業を中心とした研究発表交流会、研究インターンシップ派遣
- ・定期的な個別キャリア面談を実施

OUフェローシップ対象者

下記研究科の博士後期課程・博士課程

- ・社会文化科学研究科
- ・自然科学研究科
- ・保健学研究科
- ・環境生命科学研究科
- ・ヘルスシステム統合科学研究所
- ・医歯薬学総合研究科

支援内容

- ・生活費相当額の支給
- ・研究費の支給
- ・研究力向上とキャリアパスの支援に向けた様々な取組の提供

高度な専門性
優れた研究力
そして
**トランスファ
ラブルスキル**
を身に着けた
高度博士人材
の輩出

OUフェローシップについて（タイプA・タイプB）

「岡山大学科学技術イノベーション創出フェローシップ(OUフェローシップ)」を下記のとおり実施

- ・「大学フェローシップ創設事業」に基づくOUフェローシップ ⇒ タイプA
- ・「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に基づくOUフェローシップ ⇒ タイプB

	タイプA	タイプB
一人あたりの 支援額 (年額)	定額支給額：240万円 研究専念支援金(生活費)：180万円 研究費：60万円	定額支給額：220万円 研究奨励費(生活費)：180万円 研究費：40万円 研究費(チャレンジ枠)：0～70万円 ※
募集人数	12名程度	10名程度
支給期間	原則 3年間、標準修業年限以内	原則標準修業年限以内
応募条件	博士後期課程 1～ 3 年（予定を含む） 4年制博士課程 2～ 4 年（予定を含む） 日本学術振興会特別研究員：応募不可 国費・政府派遣留学生：応募不可 社会人：応募可	博士後期課程 1～2年（予定を含む） 4年制博士課程 1 ～2年（予定を含む） 日本学術振興会特別研究員：応募不可 国費・政府派遣留学生：応募不可 社会人：応募可

※海外留学やインターンシップ等の学生の主体的な活動計画に対して支援するための経費。

研究計画書を査定の上、総額600万円を採択者(計30名)へ配分(**平均配分額：20万円程度**)。

OUフェローシップとJSPS特別研究員等の違い

	OUフェローシップ	JSPS特別研究員
支給額	生活費相当：年額180万円 研究費：年額60万円（タイプA） 年額40～110万円（タイプB）	生活費相当:年額240万円 研究費：年額150万円以内
学内奨学金※ との併給	フェローシップ（180万円）と併せて 240万円までは併給可能。	併給不可。

※①公益財団法人大本育英会給付奨学金、②岡山大学大学院博士後期課程就学支援奨学金、
③研究科、専攻で設けている独自奨学金（入学一時金を除く。）等。

- ・OUフェローシップとJSPS特別研究員を同時に申請することは可能です。
ただし、併給はできませんので、両方採択された場合はいずれかを辞退していただきます。
- ・OUフェローシップ受給期間に申請することも可能ですが、採択された場合はOUフェローシップを辞退していただきます。



OUフェローシップとJSPS特別研究員の併給は不可



OUフェローシップ 令和5年度募集説明会

令和4年8月26日（金）
17：00～18：00

タイプA・タイプB比較

- 「大学フェローシップ創設事業」に基づくOUフェローシップ ⇒ タイプA
- 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に基づくOUフェローシップ ⇒ タイプB

	タイプA	タイプB
一人あたりの 支援額 (年額)	定額支給額：240万円 研究専念支援金(生活費)：180万円 研究費：60万円	定額支給額：220万円 研究奨励費(生活費)：180万円 研究費：40万円 研究費(チャレンジ枠)：0～70万円※
募集人数 (令和5年度)	12名程度	10名程度
支給期間	原則3年間、標準修業年限以内	原則標準修業年限以内
応募条件 (令和5年度)	博士後期課程1～3年（予定を含む） 4年制博士課程2～4年（予定を含む） 日本学術振興会特別研究員：応募不可 国費・政府派遣留学生：応募不可 社会人：応募可	博士後期課程1～2年（予定を含む） 4年制博士課程1～2年（予定を含む） 日本学術振興会特別研究員：応募不可 国費・政府派遣留学生：応募不可 社会人：応募可

※海外留学やインターンシップ等の学生の主体的な活動計画に対して支援するための経費。

研究計画書を査定の上、総額600万円を採択者（計30名）へ配分（平均配分額：20万円程度）。

説明事項

- (1) 募集要項について
- (2) 申請書について
- (3) 収入見込額証明書について
- (4) 所見書について

1. 予定人数

- タイプA 1年次相当（※4年制博士課程は2年次）：10名程度
2年次相当（※4年制博士課程は3年次）：1名程度
3年次相当（※4年制博士課程は4年次）：1名程度
- タイプB 1年次相当：8名程度
2年次相当：2名程度

※一貫制の博士後期課程は、
3年次～5年次を1～3年次
として考えてください。

課程種別	年次	タイプA	タイプB
区分制の博士後期課程	1年次	○	○
	2年次	○	○
	3年次	○	×
一貫制の博士課程	3年次	○	○
	4年次	○	○
	5年次	○	×
医学・歯学・薬学系の4年制博士後期課程	1年次	×	○
	2年次	○	○
	3年次	○	×
	4年次	○	×

2. 申請資格

修学・研究意欲が高く、研究に専念することを希望する方。
社会人学生の方も応募可能。ただし、次に当てはまる方は除きます。

- (1) 生活費相当として十分な水準の安定的な収入を得ている学生（※）
- (2) 日本学術振興会（JSPS）の特別研究員
- (3) 国費外国人留学生度による支援を受ける留学生及び本国から奨学金等の支援を受ける留学生

※「生活費相当額として十分な水準の収入」の基準は、240万円/年。

-  研究等に専念できるという前提で、アルバイトやTA・RAを実施することは問題ありません。ただし、収入が240万円/年を超える場合は、収入見込額証明書を提出してください。
-  令和4年度は240万円/年の収入があっても、退職等の理由により令和5年度は基準の収入を超えない見込みの場合は、応募可能です。
-  OUフェローシップとJSPSの特別研究員に同時に申請することは可能ですが、両方採択された場合は、どちらかを辞退いただくこととなります。採択後の受給期間中も同様の取扱いです。

3. 支給額、支給期間等

(年額)

タイプ	生活費相当	研究費 (定額)	研究費 (チャレンジ枠)
タイプA	180万円	60万円	なし
タイプB	180万円	40万円	0~70万円

いずれも支給期間は標準修業年限以内（タイプAは原則3年間）に限ります。

チャレンジ枠とは…

対象者から、自らの①国際性、②研究力、③キャリア意識を高める取組等の提案を受け、
それらの査定の上、配分する経費。

⚠ 次の学内奨学金を併給する場合は、年間受給額の総額が240万円を超えないように当該奨学金又は生活費相当額を調整します。

- ①公益財団法人大本育英会給付奨学金
- ②岡山大学大学院博士後期課程就学支援奨学金
- ③研究科、専攻で設けている独自奨学金（入学一時金を除く。）

4. 申請手続

- ・申請書（PDFで提出）
- ・収入見込額証明書（社会人学生等収入のある場合のみ）
- ・所見書（PDFで提出）

提出期限：9月26日（月）17時（JST）【期限厳守】

※上記のすべての書類を期限までに提出してください。

⚠ 注意事項

- ・事務局へメールで提出してください。
メールの件名は必ず「2023_application_氏名」としてください。
- ・所見書は、**作成者から直接事務局へ提出してください。**
- ・申請書及び所見書は、**期限内であっても原則差替え等は受け付けません。**
 いざれも時間的余裕を持って取りかかり、指導教員と相談の上、提出してください。

5. 選考及び結果通知

書面審査
(一次審査)

受付期間：9月1日（木）～9月26日（月）17時
書面審査の結果は、10月末日までに本人宛通知。

面接審査
(二次審査)

実施日：11月1日（火）～11月4日（金）
オンラインにより、一人10～15分程度で3分程度のプレゼン+質疑応答を予定。
面接日程は、事務局から日時を指定して通知（事前に対象者へ日程照会はしない）。

最終結果通知

面接審査実施後、最終結果を11月末日までに本人宛通知。

6. 選考方針

修学・研究意欲が高く、本学の重点研究分野の研究を推進し、ひいては、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出を担うことが期待できる研究者であると認められる者を対象者に決定します。

- (1) 豊かな創造性と深い洞察力に裏打ちされた独創的な課題設定能力を有するか
→研究計画、研究の特色・独創的な点、将来目標等
- (2) 研究を遂行する能力が優れているか
→これまでの研究活動実績、所見書等
- (3) 高いコミュニケーション能力を有するか
→面接審査、所見書等

7. OUフェローシップ対象者の義務

対象者は、次の事項を履行する義務があります。

なお、「8. その他留意事項」に記載されている誓約書は、下記事項について履行義務があることを確認し、申請書に記載した研究計画を踏まえた研究活動に専念することを誓約するものです。

- (1) 年度毎の研究進捗報告書（指定様式）の提出（9月及び3月）
- (2) 定期的なメンターとの面談（原則、2ヶ月に1回）
- (3) 研究力向上・キャリアパス支援に関する企画（プレゼン講習会、トランスファラブルスキル・トレーニング、企業等との交流会等）への参加
- (4) 申請書の「申請資格の確認」欄の記載内容に変更が生じた際の報告

8. その他留意事項

- (1) 対象者には、研究活動に専念すること等について誓約書を提出していただきます。
誓約書の内容については、「7. OUフェローシップ対象者の義務」を参照。
- (2) 対象者と本学の間に雇用関係はありませんが、研究専念支援金又は研究奨励費は、
税法上雑所得と扱われ課税の対象となります。そのため、確定申告が必要となります。
- (3) 研究費（チャレンジ枠を含む。）については、大学の管理下(指導教員のもと)で適切
に使用していただきます。
- (4) OUフェローシップは国の事業によって実施されるものであり、フェローシップで
支給する研究専念支援金又は研究奨励費（生活費相当）及び研究費は、「日本での
研究活動」を支援するという前提のもとで実施されることが国の制度によって決まっ
ております。よって、新型コロナ感染状況等により渡日できていない方には支給する
ことができませんのでご注意ください。

説明事項

- (1) 募集要項について
- (2) 申請書について
- (3) 収入見込額証明書について
- (4) 所見書について

1. 応募するタイプ

タイプA・タイプBの両方にチェックを入れ、希望順位を選択してください。

いずれかの申請資格のみを有している方は、該当するタイプのみにチェックを入れてください。

2. 申請者情報

- 学生番号

応募時点で岡山大学に在籍している方は記載してください。

学外の方（令和5年4月に入学予定の方）は記載不要です。

- 申請資格の確認

採択後に記載内容の誤りが発覚した場合は、受給資格を喪失する場合があります。必ず誤りのないよう記載してください。

「他の奨学金等」の項目は、念のため学外の奨学金（JASSO等）についても受給状況を記載してください。

3. これまでの研究活動実績

(1)～(6)に留意して記入してください。

研究活動実績がない場合も、なるべく現時点で記入できる内容を記入してください。
(準備中の論文や学会、その他の項目等)

4. 研究タイトル及び研究分野

研究分野名は、「岡山大学重点研究分野」の中領域の名称を記入してください。明確に当
てはまるものがない場合は、最も近い分野を選択してください。

なお、重点研究分野と研究内容の親和性よりも、研究計画（研究内容）を重視して審査を
行います。

5~8

申請書に記載の指示に従い、十分な文量を記入してください。

⚠️ 申請書を記入する際の注意事項

- ・提出の際は、PDFで提出してください。
- ・ポイント数とページ数以外は、特に指定はありません。
ただし、必ず8ページ以内で作成してください。
研究内容等については、図表等を用いて専門外の人にも分かりやすく記述してください。
- ・英語で記入いただいても構いません。
- ・原則差替え等は受け付けませんので、指導教員と相談し、よく確認の上、提出してください。

岡山大学重点研究分野

平成30年10月17日教育研究評議会承認

大領域	研究分野	
	中領域	小領域
高度な知を創生する基礎科学領域	環境・文明ダイナミクス	文明動態 環境動態研究 地球惑星物質科学 代数学 素粒子・宇宙物理学 水の分子物理性 超電導
	先端数物系科学	光合成機構解明と人工光合成 資源植物科学 遺伝子翻訳制御の分子生物学
	植物科学	行動神経科学 動物発生・生理学 分析化学
	動物科学	先端測定・解析技術 生体光解析・光操作技術 無機材料 有機材料 バイオ技術との融合研究 資源循環型高分子材料
	先進的材料科学とナノテクノロジー	遺伝育種学・栽培生理学 植物保護科学 動物生産科学 数理モデルとシミュレーション技術 情報セキュリティ ビッグデータ解析技術
	農業系科学	革新材料・次世代デバイス技術 次世代モビリティ技術
	Society5.0を支えるICT	環境保全 環境修復技術 地域研究 政策研究
	革新材料・次世代デバイス技術	医歯薬学総合研究科等研究開発戦略委員会で策定する研究拠点形成を目指すグループ
	環境保全・環境修復技術	器官再生生物学 先進的がん医療 先端医学 先端薬学 生涯補助医療技術
	地域研究・政策研究	健康寿命延伸・予防医療学 先端医療向け材料・機器・システム開発 バイオシンク 分子イメージング
SDGsに貢献するイノベーション領域	戦略医療系研究	
	先進医療研究	
	先端医療・福祉技術開発	
	先端医療を支えるプラットフォーム	

SDGs:「Sustainable Development Goals」(持続可能な開発目標)の略称です

研究分野名は、「岡山大学重点研究分野」の中領域の名称を記入してください。

明確に当てはまるものがない場合は、最も近い分野を選択してください。

この表は岡山大学研究推進機構HPに掲載しています。

https://www.orsd.okayama-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/02/jyuuten_kenkyu_bunya.pdf

説明事項

- (1) 募集要項について
- (2) 申請書について
- (3) 収入見込額証明書について
- (4) 所見書について

収入見込額証明書の作成について

- ・社会人学生等収入のある方は提出してください。
- ・アルバイトやTA・RAについては提出不要です。
ただし、アルバイトの場合でも240万円/年程度の収入が見込まれる方は、
提出が必要です。

説明事項

- (1) 募集要項について
- (2) 申請書について
- (3) 収入見込額証明書について
- (4) 所見書について

所見書の作成について

- ・所見書は、ご自身の研究内容をよく知る方に作成を依頼していただきます。
- ・提出の際は、作成者から直接事務局へ送付してください。
- ・所見書の作成は、応募時点での指導教員に依頼しても、博士後期課程（博士課程）進学後の指導教員に依頼しても構いません。

⚠️ 申請書を記入する際の注意事項

- ・提出の際は、PDFで提出してください。
- ・所見書の提出期限も、申請書と同日（9月26日（月）17時（JST））です。
申請書は提出されているが、所見書が提出されていないといった事例もありましたので、必ず作成者に提出期限をご確認いただき、期限までに提出してください。
- ・原則差替え等は受け付けませんので、よく確認の上、提出してください。

フェローシップ認定証の授与



令和4年度OUフェローシップ認定証授与式の模様



令和4年度OUフェローシップ認定者集合写真

令和4年4月に学長、教学担当理事、研究担当理事同席のもと、OU フェローシップの認定証授与式を開催。

式終了後には、槇野学長も加わり、車座になって意見交換会を開催。大塚研究推進機構特任教授と町田教育推進機構准教授の司会のもと、認定者が自分自身や研究について1分間でプレゼンテーションする「フラッシュ・トーク」を実施して交流を深めた。

※岡山大学HPに「新着ニュース」として掲載

[令和4年度OUフェローシップ認定証授与式を挙行\(2022年4月28日\)](#)



OUフェローシップ認定証

「重点研究分野(3領域・15分野)」を中心とした研究力向上に関する取組

新たな研究拠点形成を目的として決定した「重点研究分野」を中心とした研究活動を加速させる取組に対象者が積極的に関わることを支援し、社会実装や大型研究プロジェクト立ち上げ等にも参画できる環境を提供する。

岡山大学若手科学者アカデミー

優れた実績を有する若手研究者と次世代の担い手となる若手研究者の組織化によるネットワーク構築と人材育成の推進のために創設した「岡山大学若手科学者アカデミー」に対象者も入会することで、さまざまな支援メニューを受けることを可能とする。具体的には下記の支援を実施し、自身の研究活動の幅を広げるとともに、国際的な場で活躍できる人材を育成する。

【具体的な支援内容】

- ・アカデミーに参画している若手研究者、研究教授・准教授、創発的研究支援事業採択者らとの交流・意見交換
- ・内外の若手科学者・産業界との交流の場の提供
- ・国際学会等参加への支援
- ・英語を含むプレゼンテーション等の講習会
- ・科学者教育等の支援

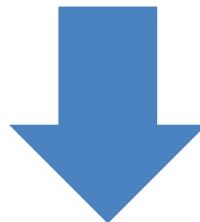
博士人材－企業との交流強化

地域企業をはじめとする企業・関係機関の共育共創の場として創設した会員制組織「岡山大学パートナーズ」及び包括連携協定を締結している地域の経済団体と連携し、対象者を含む本学大学院生を対象としたインシップ、企業関係者との交流会等を幅広く実施する。



オンラインツールを活用してウィズコロナ社会における活動の活性化を図る。

- ・対象者専用のSNSを開設・運用し、相互交流・迅速な情報伝達を図りモチベートする。
- ・事前課題を提示したオンラインセミナー・オンライン面談及び企業との交流会を定期的に開催し、対面時以上のコミュニケーションを企図する。
- ・対面では比較的困難な、遠隔地人材・研究者とのオンラインでの交流を企画し、研究・キャリア開発に供する。



今後の感染状況を考慮しつつ、
対面でOUフェローシップ生同士が交流できる機会を
提供していく予定。
9/20(火)OUフェローシップ研究成果報告会を
創立五十周年記念館にて実施予定。

2022年4月度

令和4年4月28日（木）10:00～12:00【2022年度OUフェローシップ認定証授与式】（2022年度新しくフェローシップ生になられた方のみの参加です。）

利用期限 2022年 04月 30日 の終わりまで利用可

【4.29更新】【キャリア】2022年度第1回キャリア系メンター面談 事前提出書類（＊提出期限は4月29日午前9時です。）2022年度から受給生となられた2年生以上の方は面談がございませんので、書面（＝面談票）にて詳細に現状報告願います。（＊提出期限は4月29日午前9時です。）（1年生の方は全員のご提出有難うございました。面談日時について、個別メールにて送付済みです。ご確認願います。）

利用期限 以下の（すべて）条件に合致しないと利用できません：

- 2022年 04月 15日 15:00 以後
- 2022年 05月 6日 09:00 以前

5月度

【キャリア】【4.29登録開始】（対象者：フェローシップ生全員）6月24日開催 企業との交流会 個別説明会申し込みサイトへのリンク（事前に大学IDにアクセスの上、全員の方が事前に登録願います。最大5社まで予約可能です。）

利用期限 2022年 06月 29日 の終わりまで利用可

6月度

【キャリア】6月24日（金）13時開始17時30分終了 学生と企業の交流会2022（参加対象者：フェローシップ生全員 必ず上記5月度の【キャリア】サイトから事前予約願います。）

利用期限 2022年 06月 29日 の終わりまで利用可

対象者専用サイト

世界経済が激変する中で進路環境が変化し、キャリアパスが多様化しているため、それに応じた活動を実施する。

- ・本学の過年度におけるアカデミア・ノンアカデミア及び各業界の就職状況のレクチャー
- ・日常的なキャリア系メンターとの相談体制の確立
- ・民間企業などを招致した「キャリアに関する企業との交流会及び「研究成果発表会」を年に複数回開催し、キャリア・アンカーの理解を深耕
- ・自大学でのポストを確保



キャリアイベントでの
面談風景

社会と繋がる研究を深めるポスドク・博士・修士のための
岡山大学科学技術イノベーション創出フェローシップ事業
**研究インターンシップに向けた
学生と企業の交流会2022**
ZOOMによるオンライン開催
2022年6月24日(金) 13:00~17:30

オンライン開催 —ZOOMを活用し、企業プレゼンテーションと質疑応答を交えた双方向型の企業交流会の開催!—
(*完全オンライン型開催・完全予約制)

**企業プレゼン&
個別説明会 参加企業**

運営本部（大学会議室 セミナールーム）
●13:00~13:15 開会挨拶
●13:00~13:15 産学協働イノベーション人材育成協議会による
事業紹介
●13:15~13:25 コーディネーターによる研究インターンシップの
説明
●13:25~14:20 企業によるプレゼンテーション
●14:30~17:00 研究インターンシップに向けた企業・学生説明
会（説明5分・移動5分）
●17:20 閉会挨拶

スケジュール

主催：岡山大学 教育推進機構 学生支援部門 博士人材キャリア開発セクション
共催：（一社）産学協働イノベーション人材育成協議会

お問合せ先（担当：町田尚史）
〒700-8530 岡山市北区東長町2-1-1
TEL:086(251)7198 E-MAIL:przw48ay@okayama-u.ac.jp

お申し込みは、QRコードからお願いします。
※必ず開催日のGoogleカレンダーでログインし、
申込みを行ってください。

DCSP
ドクターキャリアサポート・プログラム

博士人材キャリア
開発セクション
ホームページ

オンラインセミナーチラシ
申込みフォーム

OUフェローシップに採択されたら



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

下記事項について履行していただきます。

- 研究進捗報告書(中間・最終)の提出
- メンター面談(研究・キャリア)
- 研究力向上、キャリアパス支援に関する企画 等



また、下記のようなセミナー・イベントに参加していただきます。

- 認定証授与式
- 学生と企業の交流会
- トランスファラブルスキルセミナー
- 博士人材が活躍する業界・仕事研究会
- 研究成果報告会(学内)
- 英語論文セミナー 等



OUフェローシップ事業主催
トランスファラブルスキルセミナー

7つの習慣でトランスファラブルスキルを学ぶ

日時： 2022年7月23日（土）15:00～19:00

開催方法： ZOOM開催
講師：鈴木博美先生（フランクリン・コヴィー・ジャパン）
内容：
①7つの習慣とは？
②7つの習慣：目的的である
③7つの習慣：料りき思ひ・根っこから始める
④7つの習慣：腹黙先輩を信頼する

全世界3,000万部、国内180万部を超える、今も読み続けられる
ベストセラー「7つの習慣」を岡山で体験できるセミナーです。人
生の中で成功するためにいくつかの法則があります。
誠実、眞剣、努力、情熱、素直、元気…。7つの習慣は
「人格主義の習慣」という副題の通り、成功法則には、人が人
として正しい人間を慕い、正しい行動をなすことであると書いて
います。「7つの習慣」を本を読むだけではなく、岡山大学の仲間と
と共に体験するセミナーです。意欲的にご参加ください。

7つの習慣

このセミナーは我が国での科学技術イノベーション創出に向けた大学フェ
ローシップ創設事業におけるOUフェローシップ事業として開催されます。
OUフェローシップ生には事前資料を配布します。

【共同主催・問い合わせ先】
岡山大学 留学生支援課 学生支援部門
TEL: 086-251-7198
E-mail: oufs@okayama-u.ac.jp

DGSP
ドクターキャリアサポートプログラム



研究面・キャリア面双方に「総括メンター」を置き、ダブル総括メンタ一体制によって対象者を支援します。



研究
大塚 愛二 教授



キャリア
町田 尚史 准教授

本日の動画やFAQはホームページに掲載します。以下からアクセスしてください。

A red arrow points to the center of the homepage banner, which features a traditional Japanese illustration of fireworks and the text "始まります 令和5年度 OUフェローシップ公募 OU Fellowship for 2023 academic year starting 2022 9/1 Thu. - 2022 9/26 Mon. 大学院博士後期・博士課程学生対象 Eligible Graduate Programs and Students [Doctoral degree program only]". The banner is framed by a yellow border.

Click!

【問合せ先】

岡山大学研究協力部研究協力課
OUフェローシップ事務局
Email: ou-fellowship@adm.okayama-u.ac.jp
Tel: 086-251-8462